

# にわうせん

No. 185

発行 富山県入善町役場  
編集発行責任者 西尾三郎  
印刷 森下印刷所  
昭和47年 9月30日発行

高波で護岸堤決壊  
期待にこたえた

## 離岸堤

被害総害は二千八百万円にも

○……台風二十号の影響で、去る十八日から三日間にわたり、海岸線一帯には五〜九メートルの高波が押し寄せました。このため八幡海岸では護岸堤約五十メートルが決壊、吉原海岸や八幡の無堤防海岸では、小石まじりの土砂がほ場整備途中の水田へ運びこまれました。また、刺し網や定置網も流失、使用不能になるなど、これら合せての被害総額は、二千八百万円にもおよぶものとみられます。しかしこのほかに、海中に引きつり込まれたテトラポットなど、直接目にとまらなない被害額は、びっくりするほどの巨額になるわけです。

○……一方、横山海岸の二基の離岸堤は、地元民の期待どおり立派に役目を果たし、折りから高波の状況を視察にきた柚木町長や、ビデオコーダーで波の状況をとらえにきていた、建設省の技師などを安心させ、「経費がかさんでも、離岸堤にしか頼れない」という見方は同じようでした。

被災者の皆様に

心からお見舞申し上げます

十九日、さっそく建設省の黒部工事事務所へまいり、一日も早い復旧と、離岸堤の増設を陳情してまいりましたが、このあとも上京いたしますので、建設省などへ直接陳情してまいりますのでございます。

町長 柚木 栄吉

写真は高波が打ち上げる八幡海岸……十九日午前十時頃



人口	28,335(-21)
{男	13,315 ( 0)
{女	15,020 (-21)
世帯数	6,689(+2)
	( )内は前月比
9月1日現在住民登録	

# 総合計画基本構想

きれいでゆたかで  
生きがいのある

# 公園の町に



## 六十年には所得を四倍にも……

より住みよい町づくりの青写真「総合計画」の策定事務は、昨年の十二月から進めてきておりましたが、青年団、婦人会、区長会などの意見なども十分お入り込んだ「基本構想」がまとまり、去る九月十四日、次のメンバーで構成する総合計画審議会にはかりました。

△総合計画審議会委員▽

・学識経験者(敬称省略)

笹島太一(会長)

笹原竹松(副会長)

柚木春雄 西尾三郎 藤田

秋義 扇谷 省 上島藤吉

小林与三雄 米島一信

・関係行政機関の職員

木村政弘(建設省黒部工

事事務所長)

住松 寛(入善土木事務

所長)

・各種団体の代表者

笹島太一(農協長) 米沢

直次(商工会長) 金山光

夫(連青団長) 谷雪枝(

連婦会長) 青木安平(教

育委員長) 竹島米吉(農

業委員長) 亀田盛開(

区長会長) 松原武夫(勤

労者代表)

審議会では、これを慎重に検

討し、意見書をつけて町長に答

申しました。このため柚木町長

は、この二十五日から開かれた

町議会に上程し、二十七日に可

決採択されました。

無論この基本構想は、町の将

来を方向づける重要なものです

が、この構想に基づいて「基本

計画」や「実施計画」など、細

部にわたる施策が打ち出される

わけです。

基本構想が僅か九か月という短期間で誕生したその陰には、郷土出身の籠瀬教授をはじめ、北林、杉木専門委員らの親身の協力があったのと、住民の広い範囲におよぶアイデアの提供があったためです。

この構想は、町の将来像、基本的施策、実現への課題と三つに区分し、最後に公園都市をめざす「公園都市宣言」もうたわれているなど、他市町村にはみられない斬新な構想と申せましよう。ではその基本構想の内容を紹介いたしましょう。

### ① きれいなまち

きれいなまちづくりには、いろいろの施策が必要であるが、それらの施策は、ほどよい調和のうえに立ってすすめられねばならない。まず私達は、黒部川扇状地の自然環境の特性を理解し、これをうまく生かすことを考える必要がある。

扇状地を流れたかつての清流は、生垣をめぐり屋敷内に入って台所を流れ、飲料水となっていたものであるが、今日の扇状地の河川に、あの清流をとり戻すことはもうできない。しかしながら、町民生活の向上をめざして行なわれる「開発」に伴って起きるであろう「環境破壊の危険」に対しては、いかにしてきれいな自然環境を守り、開発と保全の調和をはかるか、特に留意しなければならぬ。



### ▽ ゆたかなまち

まちづくりは、住民生活の向上を目的とする生活優先の立場に立たなければならぬが、生活それ自体が、経済的基礎の上に成り立っているため、経済生活のゆたかさを追求することは住民すべての願いである。

そのためには、よりよい生活と生産の場が共存できるように、合理的な土地利用計画を作成して、今後は、生産性にまさる第二次、第三次産業の発展をはかることが大切であり、冬季における積雪の障害をのりこえて、生産性の高い農業を展開し、無公害で付加価値の高い「内陸型工業」を積極的に誘致することが、町行政の課題であろう。

さいわい本町には、黒部川扇状地を基盤とした平坦な土地資源と豊富な水資源があり、海洋

開発の将来性と併せて、農林水産業と商工業の調和のある発展が約束されている。

### ▽ 生きがいのあるまち

きれいなまちづくり、ゆたかなまちづくりさえすすめば、住民はその環境の中で、自らの生きがいをもって生活することができるであろうか。激動する政治、経済、社会の動きの中で、住民自体の人間関係は常に変化していくから、それらの動きにうまく対応しながら、しかも主体的に行動していかない限り、生きがいのある生活とはいえないであろう。

生きがいのあるまちは、住民の創造力や積極性を基盤に建設されていくものであり、そのために、人づくり、住民づくりに主力が向けられなければならない。すなわち、あらゆる年齢階層や職能集団に対して、最期の時期に最適な場所で教育の機会を提供し、住民に生涯教育体制への積極的な参加を奨励しなければならぬ。小中学校、高校、そして社会人として、常に学ぶ機会と場所に恵まれていることが、生きがいにつながる。

生きがいのあるまちは、生涯を通じて学ぶことが、いかに楽しいものであるかという経験を、常に住民に与えるような、雰囲気につつまれていることである。そのようなまちであってこそ、人びとの生きがい感、より深く堅いものとなってくる。

# 市街地を拡大し

## 用途地域を設定

### ② 基本約略

基本的施策は、昭和六十年までは、きれいで、ゆたかで、生きがいのあるまちづくりにとめ、いわゆる「公園都市」形成という目標を達成するための方策であり、この場合、町の人口は、大都市からのUターンや自然増を考慮し、昭和四十五年に比べて、約二十パーセント増の三万三千人、住民一人当りの所得は、約四倍の百八十万円と想定するものです。

### ▽ 資源開発と保全

(1) 土地資源 —— 本町では、総面積七百五十八ヘクタールのうち、八十三・八パーセントの約六千ヘクタールが平坦地である。この恵まれた土地資源を有効に利用するには、秩序ある開発の方向を明確に定めなければならない。近時市街地では、人口増や消費形態の変化による生活環境の悪化が進行し、そのため都市機能の停滞をきたしている。これらを解消するには、市街地を拡大し、用途地域の設定を行なう必要に迫られてきた。

安全で快適な住居地域、企業進出に対処しての工業地域、および住民福祉に資する公用地等よび、農業振興地域の指定による設定すみの農業地域との調和をはかることが大切である。また自然保護と水源のかん養を目的とした環境保全地域を保護するなど、合理的、効率的な土地利用をすすめるものとする。

これとは逆に、生活様式の都市化、多様化等により、水の需要量は急激に増大しており、今後は農業用水の既存量を確保するとともに、生活用水には表流水を、工業用水には豊富な地下水を充て、表流水、地下水の合理的利用をはかることが必要となる。

(3) 海洋資源 —— 約十二キロメートルの海岸線は、日本海特有の波浪などもあつて、漁業がわずかに行なわれている程度である。

しかし海洋開発のうち資源利用については、新漁場の開拓や養殖技術の向上等、漁業資源の確保に努力するほか、大陸棚の資源開発や海水利用など、時代の要請に応じた対策を行なうものとする。また、海洋スペースの利用としては、余暇時間の増大に対処してモーターボートやヨット等、海洋レクリエーションの開発に努力する。なお、河川の水質汚濁や廃油などの海上不法投棄の防止につとめ、海洋資源の保全をはかるものとする。

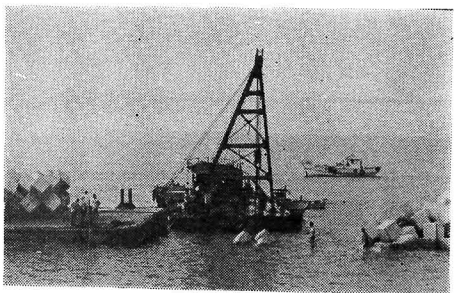


### ▽ 住民生活の向上

(1) 災害の防止 —— 消防防災体制、救急体制の確立と常備消防の人的物的整備をはかる。増大する交通事故には、交通安全意識の高揚と安全施設の強化、こどもの交通安全教育の場である

交通公園の設置を促進する。

自然的災害に対しては、海岸線一帯に大規模な保安林の造成による砂防をはじめ、治山、沿水、護岸等の予防対策につとめる。また災害発生時対策、復旧対策を含めた総合防災対策を確立するものとする。



のとともに、最も効率的な医療体制を展開するものとする。

(3) 社会福祉の増進 —— 老人の健康管理の充実と、社会活動への参加機会の拡大をはかり、生きがいのある老後が保障されるようつとめる。児童福祉については、婦人の就労者の増加に対処して、保育所の乳児施設の整備をはかるとともに、児童の健全育成のため、児童遊園地、児童館の整備拡充をすすめる。また心身障害者、母子家庭には援護策を強化する一方、勤労者の福祉増進にもつとめる。

(2) 保健衛生の向上 —— 健康増進と医療水準の向上をはかるため、成人病の

## 住民全体の健康カルテを

予防治療、母子保健の推進、救急医療対策等の充実強化につとめる。このため、予防機能を主眼とした健康センターを整備し、成人病予防をはじめとする総合住民検診、健康相談および保健衛生教育、リハビリテーション(社会復帰)の推進をはかる。また将来は、住民全体の健康カルテを備えるほか、関係機関や住民組織と連絡をはかりながら、住民の健康保持につとめる。

医療施設については、総合病院がないことをふまえ、個人開業医、近隣市町病院の有機的連携により、医療ネットワークの形成を促進し、相互の機能分担

(4) 交通通信網の整備 —— 地域の産業、経済発展の起爆剤ともなる北陸新幹線、北陸自動車道およびスーパー農、林道の早期実現をはかる一方、市街地の拡大による都市計画街路、主要集落を結ぶ基幹道路を新設、既設道路は改良舗装を積極的に推進し、黒部川堤防の舗装にも努力する。除雪機械の強化にあわせて消、融雪装置の整備を積極的につとめ、冬期間の車輛運行を確保する。

一世帯一電話を実現するとともに、町内一局化を目標に施設の質的向上につとめる。鉄道、バスについては、路線および運行回数の確保に努力する。

(5) 住環境の整備 —— 将来、人口増や核家族化による住宅需要の充足には、緑地や駐車場を配した分譲宅地の造成など、用地の確保につとめるほか、一人一室を目標とした居住環境の質的向上をはかる。

清掃施設については、広域圏事業としてゴミ焼却場を建設、し尿処理施設の活用を促進し、不燃焼物処理の広域化、収集業務の合理化をすすめる。

河川総合開発事業等に参画して、表流水を主体とした恒久水源による上水道を全町に普及、市街地では完全普及を目標に公共下水道を建設、農村地域には排水路を整備する。特に、黒部川河川敷など、自然形態を利用した風致公園の建設や、市街地の拡大につれて困難視される用地の確保につとめる。

沢杉園家山 じょうべのま

# グミ群生林も公園化 農業は生産団地化へ



## ▽産業構造の近代化

(1) 農業 — 食料供給基地として、需給の動向に対応したうまい米づくりを推進。畜産、花卉、球根、野菜等の生産団地化をはかり、生産、加工、販売の流通機構の整備を促進する。また、特産物の集中栽培や苗木の育成、盆栽の預託栽培を内容とした「農園センター」を設置する。また、水稲共同育苗や大規模もみ共同乾燥調製など、近代化施設の整備、拡充を行なうとともに、請負耕作体系の確立を推進する。

(2) 工業 — 企業誘致にあたっては、内陸型工業で無公害のおそれがないものに限定する。このため、緑の並木道やレクリエーションの広場もある、工場公園の形状を備えた工場団地を三〜四か所指定し、計画的、先行的立地誘導をはかる。また、市街地内にある企業の移転、金融上の指導、従業員福利厚生施設の整備を促進する。

(4) 水産業 — 入善漁港の整備充実を進め、入善海岸沖の新漁場の開拓に努力する。とる漁業から育てる漁業へ着目し、内水面漁業の振興、漁業団体の健全育成化にもつとめる。

(5) 観光 — 学術的にも貴重な海に臨む沢杉や園家山の松林をはじめ、黒部川河川敷に群生するグミ林、じょうべのま遺跡などは、公園化を推進するうえ重要な資源となる。舟見山を開発し、十二キロにおよぶ海岸線では、釣場、海水浴場の整備拡充とヨットハーバーの建設を進めるものとする。

## ▽生涯教育体制の充実

(1) 学校教育 — 幼児教育施設として幼稚園の設置をはかる。学校統合については適正規模、教育環境、住民感情を考慮し、小学校は現在の十校を六校程度に、中学校は二校に統合、小学校の跡地利用計画もすすめる。また新しい高校、各種学校、大

学など、教育機関の誘致を積極的に推進する。

(2) 社会教育 — 社会教育センター、勤労青少年ホームの建設促進、図書館の利用拡大、七十八館にもおよび部落公民館の整備をはかるほか、青少年、一般成人の海外派遣を促進、姉妹都市の実現に努力する。

(3) 社会体育 — 各種の競技施設ならびに緑地帯、噴水池、遊歩道など、休養、休憩施設を備えた運動公園の建設を促進、さらには温水プールや総合体育館の適正配置をはかる。

(4) 芸術文化 — 住民が容易に創作や鑑賞活動に参加できる美術展、文化展の開催、芸術文化団体の設立をはかるとともに郷土資料館、民芸館を設置する。文化財や自然環境が破壊される傾向にあるので、その保護対策には特に力を入れ、じょうべのまや沢杉は遺跡公園、風致公園に整備、保存し、少年自然の森を造成する。

## ▷望ましい コミュニティ (近隣社会) の 形 成

望ましい近隣生活を営むために、生活上の欲求が充足できる施設として、公園、広場、集会場および水泳プールなどから成る住民センターを地区ごとに設置し、住民自治実践の拠点として、機能を発揮できるようにつとめる。

なお本町は、散居村という特殊な集落形態をなしているために、上下水道の建設、ごみやし尿の収集など、ネットワーク的施設の整備をするには、極めて非効率的な投資を必要とする。今後、農業経営の動向を見ながら農村部における快適な生活環境をはかるため、散在する集落形態につき検討を加えるものとする。

## ③ 実現への課題

### ▽住民の参加と協力

将来像にもとづく基本的施策のなかに、今後十三年間の入善町発展の方向を示したわけであるが、これらの実現には多様な道があり、数知れない困難も予想される。国、県、民間などの具体的施策の展開もさることながら、住民ひとりひとりの深い理解と、積極的な参加がなくては目標をとげることはとうてい不可能である。たとえば、土地、水などの資源の配分と活用については、すべての住民が将来の合意、ならびにそれに達する民主的なプロセスこそ、きれいでゆたかで、生きがいのあるまちづくりに直結するといえよう。

### ▽行政の合理化

行政組織を充実強化し、能率的、総合的組織運用をはかり、諸施策の計画、実施から詳細にいたる進行管理等、企画調整機能の体系化を進め、経営管理技術をとり入れる。増大する事務量に対しては、コンピュータを導入、事務処理は機械化、近代化して、共通事務の集中統一化に努力する。広域行政に十分配慮しながら、住民の声が直接行政に反映できるように広聴、広報活動を推進する。

### ▽財政の適正化

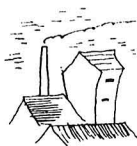
本町の財政構造は、必ずしも強固とはいえず、財源の確保が基本構想実現の基礎である。このため、長期展望に立っての財政需要と財政収入の調和をはかり、消費的経費を極力節減し、健全財政主義を貫きながら積極的、効率的財政運用を進める。計画内容の実現には、民間の知恵や資金の利用をはかる方ど、民間エネルギーの活用を積極的に進めるほか、便益度に応じた応益負担も十分検討するものとする。

本町は西は黒部川、東は小川によってほぼ境界をつくり、北は日本海に面し、地理学上、わが国でも代表的な扇状地を形成している。

北アルプスから流出する融雪水が浸透し、豊富な地下水となつて扇状地帯をうるおし、黒部川下流右岸では白噴井さえ見られる。

点在する森や沢、田園風景、青い空等、扇状地をはじめ山、川、海で構成する自然景観をな

### 家屋の評価方法を



## 九年ぶりに改正 評価額は四七割高に

皆さんが持つておられる土地や家屋には、固定資産税がかかっております。これは自治省でつくつた「固定資産評価基準」というものに基ついて、その土地や家屋の価格を計算し、これに税率をかけて税額を決めたものです。

ところで現在使っている「評価基準」は昭和三十七年一月現在の東京都の物価水準によつて作られたものです。それから十年近くたった現在では、建築資材によつては、二倍以上になつたものもあるし、また当時とほとんど変わらないもの、また値下がりしているものなどあつて千差万別です。

これら資材費のほかに、大工や左官の日当などの値上がりも総合的にとりまゝとめて、新しい「評価基準」が、この程ででき上りました。

これは昭和四十六年一月現在の物価水準におきかえられたもので、九年ぶりの大幅手直しです。

新しい「評価基準」が今までのものに比べて、どれ程の割合になるかは関心の寄せられると

がく保つことにより、町全体が一種の公園ということができ

る。児童公園、地区公園等をたくさんつくり、住民一人当りの公園面積を、国の基準である十平方メートル以上にすることをめざす。また、緑の工場公園や農業公園の誘導をはかり、公園のなかでの産業振興を計画的にすすめる。公園づくりは健康、福祉の増進、教育施設の充実等、多くの施策を前提として行なわ

なければならぬ。したがつて公園の整備は、町があらゆる分野で均衡ある発展をとげるための目標ともいえる。

公園は、住民のいこいの場として広く利用されることが大切であり、常に清潔で気持ちよい状態に保持されていることが必要である。だれもが気軽に立ち寄り、親しみとやすさが倍加するような公園づくりにつとめる。住民のなかに、公園を愛する心が生れ育つように配慮すれば、公園の植樹や清掃等に、住民の自発的参加が期待できる。こうした住民の地域社会活動への参加こそ、まちづくりの最も

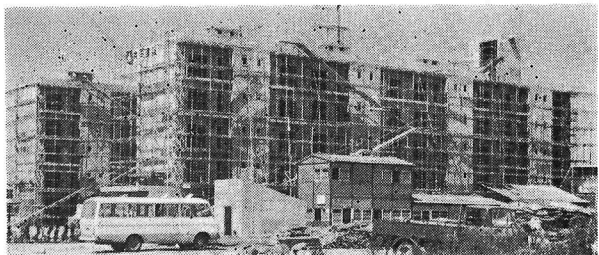
望ましい方向である。ここに入善町が、公園都市をめざすことを宣言する。

### アイデアを お寄せ下さい

以上が基本構想のあらましですが、先にのべたようにこの構想に基ついて、具体的な事業計画が打ち立てられることになりすので、町の将来に対する希望や意見、アイデアなどについては、役場の総合計画策定委員会事務局へお寄せ下さい。事務局では皆様方の深い理解と、ご協力を期待しております。

ころですが、大きければ言うて、木造家屋では六割ないし七割程度、木造でない家屋では四割ないし五割程度、評価額が引き上げになるように思われま

す。新しい「評価基準」は、全国的に、ことし一月以降に新築した家屋から適用することになつております。



写真は完成間近い雇用促進住宅

できます。従来の建物では、他の部屋の前を通つて（旅館やホテルのように廊下があつて）自分の部屋（居室）へ入らなければならなかつたものを、一階から五階まで五戸分が一つの入口を通つて入るもの、階段が廊下の役目をしておりますので、一戸一戸完全に独立しているといつてよいものです。

住宅に困っている方や産業労働者を受け入れる方にはぜひ、「雇用促進住宅」の利用をおすすめします。

- 入居の基準
  - (1)就職し、または就職しようとする者（ただし旧下新川那外からの転居者）で、住宅に困っている人。しかし入居開始六か月を経過しても入居者が満たない場合に入居開始六か月を超えて、住宅困窮者も入居できるようになります。
  - (2)家賃（月六、四〇〇円）の五倍以上の月収があつて、家賃支払能力のある者
  - (3)同居する親族のある者
  - (4)確実な保証人のある者
- 家賃および借受期間
  - (1)家賃 月 六、四〇〇円
  - (2)借受期間 原則として二年

## 入居希望者は 商工水産課へ

十二月から入居できます

ある雇用促進事業団が、老人いこいの家の西側に建設をすすめておりました「雇用促進住宅入善宿舍」は、この十一月末に完成します。

鉄筋コンクリート造五階建、二DKながらバス、トイレ付きのこの住宅は、一棟が四十戸で二棟あり、合せて八十戸が入居

- 借受手続 入善町商工水産課
- 入居開始予定 十二月一日
- なおこの雇用促進住宅は、入善町老人いこいの家の西隣りにあり、国道や入善駅にも近い、交通の便利な高級住宅街です。



勤労者のために、国の機関で

防ぐことができる

# 成人病

(その4)

ガンは発見が早いさえすれば

日本では一年間に、十三万人近くの国民がガンで死亡しています。これは四分半に一人づつガンで死ぬ計算になり、やがては、死亡順位第一位の脳卒中を抜いて、トップになるともいわれています。

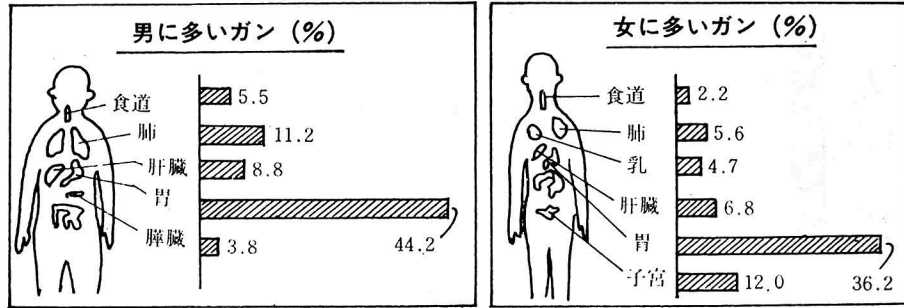
また、ガン死亡率の特徴は、年齢階級別に死亡順位をみた場合、三十五歳から六十四歳の年齢階層において第一位を占めており、社会的にも家庭的にも最も円熟した働き盛りの年齢層に最も多い死因であるということです。

ガンの追放には、世界の学者が日夜努力していますが、いまのところ「早期発見、早期治療」以外に対策はありません。しかし、ガンは早く見つけて正しい治療をうければ必ずなおる」ということが保証されるようになりました。ガンの早期発見には定期検診が必要で、一年に必ず一度、できれば二度うけたいものです。

次の症状があつたら直ちに医師の診察をうけ、ガンでないかみてもらいましょう。

- 胃の具合が悪く食欲がなく、好みが変つたりしないか(胃癌)
- おりものの不正出血はないか(子宮ガン)
- 乳房のなかにシヨリはないか(乳がん)
- 飲み込むときにつかえることはないか(食道ガン)
- 便に血や粘液がまじつたりしないか(大腸ガン、直腸ガン)
- せきが続きたり、たんに血がまじつたり、声がかすれたりしないか(肺ガン、皮膚ガン)

○治りにくいはいははないか(舌ガン、頭皮ガンなど)



○尿の出が悪かったり、血がまじつたりしないか(腎臓ガン、前立腺ガン)

成人病の中にはいま一つ、心臓病があります。心臓病にも狭心症、心筋梗塞、高血圧性心臓病、心不全、心臓弁膜症、先天性心臓病など、多くの種類がありますが、中年過ぎの人びとで特に問題となるのが狭心症、心筋梗塞、心不全の三つです。

狭心症は、心臓の外側をとり囲むように走っている動脈に、動脈硬化がおこり、心臓の筋肉に行く血液が不足し、そのため心臓の一部が栄養障害をおこすためにおこる病気で、症状としては、発作的な前胸部の疼痛やしめつけられるような感じがあります。

心筋梗塞症は、心臓のまわりの動脈の血管に血のかたまりがつかまつたり、血管の異状収縮がおこつたりして、その血管で養われている心臓の筋肉が変性するためにおこるものです。狭心症より発作の時間が長く、痛みも一般に激しく発生のときシヨックがおこり、そのための死亡率はかなり高いものです。

心不全は、高血圧や動脈硬化症、弁膜症などが原因で心臓肥大がおこり、この肥大が高度になると心臓の働きがにぶり、呼吸困難や下肢のむくみがくるものです。

このように心臓病は、心臓のまわりの動脈(冠動脈)の動脈硬化が最大の原因であり、精神的、肉体的緊張によるストレスや細菌、ウイルスによる感染が動脈の壁を傷害し、それに脂肪の代謝異常によって、特にコレステロールや中性脂肪が動脈の壁にたまるため、動脈硬化をおこすものと考えられます。さらに動脈硬化にはホルモンの作用が関係しており、甲状腺ホルモンや性ホルモンの分泌が少なくなることや、血圧が高くなることで動脈硬化が進むといわれています。

したがって、心臓病の悪化や発作や予防には、日常の生活に気を付けることが必要で、

- (1) 腹八分目
  - (2) 塩分は少なめに
  - (3) 肉のあぶら身は少なめに
  - (4) 良質の蛋白質を充分に
  - (5) 太りすぎないように気をつけることが大切です。
- どうきや息切れしやすい人、脈の打ち方が乱れる人、むくんでいる人、胸に痛みのある人、チアノーゼ(顔色が藍紫色になる)のような症状がある場合に

は、心電図やレントゲンなどでくわしい検査をうける必要があります。

以上四回にわたって成人病についてとりあげてみましたが、参考になる点があればさいわいです。住みよい町づくりは明るい家庭づくりにはじまり、明るい家庭は健康という基礎の上になりました。わたしたちは「健康」という言葉を考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

建築工事現場には

確認の

表示板を

11日から一斉パトロール

建築ブームにのつて、最近では住宅や作業場の新増、改築がさかんにこなわれておりますが、確認申請書を提出しないで工事に着手したり、確認通知を受けているが表示を怠っているものなど、数多く見受けられます。

またこれらの中には、建築基準法関係の規定に適合していない違反建築もあり、工事を中止させられている例もかなりあります。農地を住宅地とする場合は、必ず農地の転用許可を受けてから、そして建物を建てる時は確認申請書を提出し、確認通知を受けて表示板をかかしてから工事に着手しましょう。

十月十一日から十七日まで「違反建築防止週間」です。特にこの期間は、一斉公開パトロールを実施し、違反建築の一掃をはかることにしております。

# 書き損じた葉書は 交換します

入善・舟見郵便局

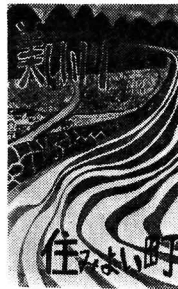
はがきなどを書き損じたり、汚してしまった場合、わずかな手数料で新しい品と交換していただくことを知っていますか。交換していただく種類と手数料は次のとおりです。  
通常郵便はがき  
往復はがきの往復部または返信部のみ  
小包はがき  
一枚につき二円

## 郵便貯金の 利子記入を

郵便局の普通貯金の利子は、貯金の原簿を保管している地方貯金局（金沢）で、毎年三月末日を〆切って計算し、これを元金に加えています。  
お手持ちの貯金通帳に利子が記入されていない場合、郵便局へ利子の記入をご請求下さい。その方法には次の二つがありますが、印章は必要ありません。  
〇通帳を手もとに置いたまま一度郵便局の窓口へ通帳を持参し、利子の通知をしてくれるよう申し出ますと、約一週間後に利子の通知書が届けられます。その通知書を郵便局へ提出しますと、利子の記入をします。  
〇貯金通帳を提出して——通帳を郵便局へ提出しますと、地方貯金局で利子を記入してお返しします。

## 特選に古草君ら

海と川をきれいにのポスター



（新屋小六年鍋島博之君の作品）

▲特選▽  
古草 俊広（小摺戸小四年）  
鍋島 博之（新屋小六年）  
高島 長治（黒東中二年）

△入選▽  
梨木 淳子（舟見小六年）  
舟根 悟（小摺戸小四年）  
寺林 尋奎（〃〃〃）  
上田 泰也（入善小五年）  
堂徳 秀秋（新屋小四年）  
佐藤 将人（横山小五年）  
宝田美穂子（上原小四年）  
寺田 禎（〃〃〃）  
藤田 早苗（黒東中三年）

## ○日赤特別社員新加入者

四九名

- 日赤大口社資（敬称省略）
- 銀色有功章社員——山下政吉（芦崎） 宝田雅子（入膳） 真岩幸作（春日） 池原久作（藤原）

## 秋季募金に

協力を

十月一日から、全国一斉に共同募金運動がはじまります。皆様のあたたいご協力をお願いします。

○一世帯当り募金額 二四〇円

（内訳）

- ・共同募金 一三〇円
- ・歳末たすけあい金 四〇円
- ・身体障害者福祉資金一〇円
- ・社会福祉事業資金 六〇円



あたたいご芳志を感謝いたします  
入善町善意銀行（敬称省略）

現金の部 9月1日～9月22日

預託(寄附)	内容
入膳 山本正勝	5,000円 社会事業資金として毎月
〃 柴田忠義	1,500円 タバコをやめて毎月
〃 田中忠一	1,000円 図書購入費として毎月図書館へ
〃 (代表) 宮野喜一	5,000円 ポーリング大会の残金を
新屋 小5年 大林聴美	1,344円 小使をためて恵まれない人へ
計 5件	13,844円

## 物品の部

入善ポール	浴用せつけん (2個入) 100箱	敬老の日に福寿会へ
伊野清作	すし 100人前	〃
竹内勝利	浴用せつけん 10箱	母子寮へ指定寄附
入膳 米沢良吉	ヤクルト 50本	〃
〃 上原すみ	雑布 102枚	県内施設へ指定寄附
〃 梅川あや		
計 5件		

ダイヤルは  
メモを見ながら正確に

## 地域集団電話（農集）の 加入者の皆さんへ

73局の加入者の方から、同じ地域の集団電話加入者以外の方へ電話するときには、必ず最初に0をダイヤルして下さい。  
（例） 72-1231へかけたいときは 0721231をダイヤルする。

0をまわしませんでしたと、同じ地域の集団電話の、下3桁の721(73-×721)へかかります。このため、多くの方がたいへん迷惑しております。地域集団電話からダイヤルするときには、くれぐれもご注意ください。

## 当っていませんか！ あなたの電話債券

電話債券の定時償還は、抽選によって行なっております。債券をお持ちの方は入善電報電話局（72-1000番無料）へ問い合わせ下さい。また、お手持ちの債券で、償還期限が過ぎていないものがないかお調べ下さい。

春季募金に協力

ありがとうございました

○募金総額 一、五〇一、二〇円

- （内訳）
- ・日赤社資 八七五、七二〇円
- ・県護国神社奉賛会費 一八七、六二〇円
- ・更生保護事業資金 一二五、〇八〇円
- ・社会事業資金 三二二、七〇〇円

# 町内の全用水を断水

## 火の用心を!!

愛本えん堤の災害復旧工事などのため、黒東合口用水を次のように長期間、断続的に断水します。火の元に十分注意して下さい。

- 第一回目 10月4日～6日 3日間
- 第二回目 10月19日～11月13日 26日間
- 第三回目 12月17日～18日 2日間



おめでた(出生)

住所	氏名	保護者名	続柄
入膳	上田大樹	満作	長男
福島新	福沢恵	純良	長女
上野	西島裕二	利秋	長男
上野	藤田早織	進	長女
目川	杉原謙司	德行	長男
神林	米原歩	久夫	長男
上野	道又聡	勝義	長男
小摺戸	杉本泰代	晃	長女
下膳	後藤啓子	隆司	長女
入膳	黒崎正美	正夫	長女
入膳	黒崎弘美	正夫	長女
入膳	米沢智影	和男	長女
新屋	藤田建次	政樹	長男
吉原	水野和幸	幸男	長男
青島	中野隆也	隆利	長男
道市	福島尚子	稔	長女
板屋	桐沢実	弘	長女
入膳	五十里直子	栄二	長女
横山	西島弘美	光二	長女
横山	広島隆憲	利之	長男
入膳	下飯野政紀	紀一郎	長男
中沢	金山宏子	富弘	長女
上飯野	石川奈々絵	勲	長女
上野	東原なつみ	進	長女
神林	野沢利昭	一昭	長男

木根	稲場憲子	昭博	3女
入膳	長谷真理	和夫	長女
舟見	松田和子	重弘	2女
舟見	大家雄次	次彦	2男
東宿	野坂賢一	博	長男
一宿	細田直子	實	長女
入膳	四十物良子	孝義	長女
青木	森下真記	憲二	長女
入膳	橋元雄次	久雄	2男
東宿	川瀬則子	義雄	長女
東宿	川瀬洋一	忠夫	長男
入膳	道原朱美	英克	長女
入膳	瀧基美	芳維	長女
入膳	藤井華月	孝行	長女
入膳	上嶋佐緒里	洋一	長女
吉原	高倉理	清隆	長男
入膳	中村愛	潔	長女
舟見	酒井幸子	一栄	2女
入膳	浦山新	森高広	長男
入膳	上田誠	義雄	長男
入膳	松島瑞穂	健次	長女
道市	広多賢二	継朗	2男
道市	滝本智子	靖夫	2女
入膳	泉拓也	庄一	長男
上飯野	滝本勉	和美	長男
今屋	富山仁志	仁雄	長男
新屋	和田久美子	進	長女
横山	野口真太郎	康則	長男
入膳	関美智留	敬司	長女

### おみやげ(死亡)

住所	氏名	年齢	世帯主
舟見	山下のう	64	健次

入膳	滝本	なつ	本人
青木	上島	栄作	71
東宿	広田	小興	71
上野	目沢	きよ	73
入膳	渡辺	孝恵	71
入膳	田中	藤八	71
入膳	中川	もり	71
入膳	若島	つや	71
福島新	松沢	温良	74
青木	佐々木	つよ	74
入膳	西島	文吉	75
吉原	飯田	虎吉	77
横山	飯田	源	78
西宿	百石	りん	85
入膳	林	もと	93
東宿	高村	栄吉	79
舟見	中易	久一	86
浦山新	金沢	みて	86
入膳	田中	ちよ	86
入膳	魚津	順平	79
舟見	田中	ちよ	86
入膳	中易	久一	86
下飯野	浜田	いと	83



10月1日～7日

### 全国労働衛生週間

からだは健康に 職場は快適に

入膳	滝本	なつ	本人
青木	上島	栄作	71
東宿	広田	小興	71
上野	目沢	きよ	73
入膳	渡辺	孝恵	71
入膳	田中	藤八	71
入膳	中川	もり	71
入膳	若島	つや	71
福島新	松沢	温良	74
青木	佐々木	つよ	74
入膳	西島	文吉	75
吉原	飯田	虎吉	77
横山	飯田	源	78
西宿	百石	りん	85
入膳	林	もと	93
東宿	高村	栄吉	79
舟見	中易	久一	86
浦山新	金沢	みて	86
入膳	田中	ちよ	86
入膳	魚津	順平	79
舟見	田中	ちよ	86
入膳	中易	久一	86
下飯野	浜田	いと	83

地図のたのしみ 堀 淳二  
 日本列島農山漁村その現実 西川大二郎  
 心的現象論序説 吉本隆明  
 内山完造伝 小沢正元  
 家庭の園芸 浅山英一  
 イメージの変革 坂崎乙郎  
 の狩人 〃  
 農村青年に訴える 〃  
 農山漁村文化協会 山と溪谷社  
 全国民宿オールガイド 和田金次  
 農村青年教育の実践 日本登山学校  
 登山技術入門 岡田 要  
 動物の親子 吉田精一  
 古典文学入門 久保田正文  
 現代短歌の世界 中村真一郎  
 源氏物語の世界 〃



### 新着図書案内

気象の未来像	飯田隆治郎
人間―機械系の話	井戸 剛
読書と或る人生	福原麟太郎
愛と苦悩の古仏	高田好胤
明治、大正、昭和	吉村真司
私の作家評伝	中村光夫
中国の思想十三冊	小島信夫
星の一生	森本雅樹
免疫と血清	沢井芳男



貧困の文化 高山智博  
 親鸞聖人大蛇渡 高道正信  
 藍より青く 山田太一  
 青春 松田道雄  
 現実 〃  
 脱俗 〃  
 あそび 〃  
 後白河院 井上 靖  
 母と子を結ぶ幼児教育の百科 〃  
 中国の神話 横地 清  
 仏教百話 貝塚茂樹  
 禅 増谷文雄  
 聖書百話 鈴木大拙  
 西域 北森薫蔵  
 現代経済入門 井上 靖  
 適性 王野井芳郎  
 母と子の世界 山田雄一  
 電子計算機 今野一雄  
 育児百計 森口繁一  
 音楽を愛する人に 松田道雄  
 新日本語論 芥川也寸志  
 詩をよむ若き人々のために 金田一春  
 架瀬基寛 吉田健一  
 秀歌十二月 前川佐美雄  
 漢文の話 吉川幸次郎